

ロボットの可能性



「環境首都水俣」に学ぶ水高生から世界への「いのち」の発信

2年生3名

仮説
今後さらにロボットが必要な社会になるだろう

→

- ・高齢化
- ・人口減少

現状


- ・産業用ロボットは年々増加傾向にある
- ・介護用ロボットは高価なためまだ普及が進んでいない。

私たちの取り組み

廃材の活用



実習による技術向上



機械科でロボットを作ることで、機械に対する知識や、使用用途に応じたものづくりの技術を身につけることができ、将来世界的に活躍できるエンジニアの育成に繋がる。

今後の社会に必要なロボット

→

- ・医療
- ・産業
- ・サービス

ロボットが普及することでのプラス面

産業→・人の労働力を軽減・労働力不足の解消

医療→・より精度の高い検査や診断

サービス→・私たちの生活を便利なものにする

結論

今後さらにロボットが普及することで私たちの生活が豊かになる